

令和6年度

令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

事業報告書

学校法人 野上学園

1. 法人の概要

(1)建学の精神

本学園の建学の精神は「如何なる時も凡事徹底」です。この精神は学園が設置する全ての教育機関に受け継がれ、学生教育の柱となっています。

また本学は「動物」を学ぶことを目的とした教育機関を設置していることもあり、「動物から生きる知恵を学ぶ」ことを使命とし、「喜びを与える人であれ」を教育理念として、ヒトと動物が共に暮らせる社会を目指した人材育成を行なっています。

(2)沿革

法人設立年月日 平成 19 年 9 月 25 日

法人本部所在地 徳島県徳島市佐古一番町 5 番 4 号

学校設置年月日

・ブレーメン愛犬クリエイティブ専門学校設置 平成 20 年 4 月 1 日

・神戸ブレーメン動物専門学校設置 平成 24 年 4 月 1 日

・東京ブレーメン動物専門学校設置 平成 29 年 4 月 1 日

・ブレーメン愛犬クリエイティブ専門学校 学校名変更

→ ブレーメン動物専門学校 平成 31 年 4 月 1 日

・大阪ブレーメン動物専門学校設置 令和 3 年 4 月 1 日

(3)設置学校

・ブレーメン動物専門学校 所在地：徳島県徳島市

ペットビジネス学科 ：2 年制

愛玩動物看護学科 ：3 年制

ペットマイスター学科 ：4 年制

・神戸ブレイメン動物専門学校 所在地：兵庫県神戸市中央区

ペットビジネス学科：2年制

動物看護学科：3年制

・東京ブレイメン動物専門学校 所在地：東京都北区

ペットビジネス学科：2年制

愛玩動物看護学科：3年制

・大阪ブレイメン動物専門学校 所在地：大阪府大阪市福島区

ペットビジネス学科：2年制

愛玩動物看護学科：3年制

(4)学生数

令和6年5月1日現在

ブレイメン動物専門学校

学 科	入学 定員	収容 定員	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
ペットビジネス学科	35	70	41	40			81
愛玩動物看護学科	18	54	20	16	2		38
ペットマイスター学科	5	20	4	3	7	8	22

神戸ブレイメン動物専門学校

学 科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	合計
ペットビジネス学科	80	160	88	77		165
愛玩動物看護学科	40	120	40	40	12	92

東京ブレイメン動物専門学校

学 科	入学定員	収容定員	1 年次	2 年次	3 年次	合計
ペットビジネス学科	40	80	34	40		74
愛玩動物看護学科	14	42	14	13	9	36

大阪ブレイメン動物専門学校

学 科	入学定員	収容定員	1 年次	2 年次	3 年次	合計
ペットビジネス学科	60	120	65	50		114
愛玩動物看護学科	40	120	44	38	12	94

(5)教職員数

令和 6 年 5 月 1 日現在

ブレイメン動物専門学校

教員数（本務）	教員数（兼務）	教員合計	職員数（本務）	職員合計
12	2	14	1	1

神戸ブレイメン動物専門学校

教員数（本務）	教員数（兼務）	教員合計	職員数（本務）	職員合計
13	11	24	2	2

東京ブレイメン動物専門学校

教員数（本務）	教員数（兼務）	教員合計	職員数（本務）	職員合計
8	5	13	2	2

大阪ブレイメン動物専門学校

教員数（本務）	教員数（兼務）	教員合計	職員数（本務）	職員合計
11	7	15	2	2

(6)役員・評議員概要

令和6年5月1日現在

[定数] 理事5 監事2 評議員11

職 名	氏 名	任 期	備考
理 事 長	野上 耕一	令和4年10月～令和7年10月	
理 事	野上 和子	令和4年10月～令和7年10月	
理 事	和田 信彦	令和4年10月～令和7年10月	外部理事
理 事	内藤 榮	令和4年10月～令和7年10月	外部理事
理 事	豊實 祐之	令和4年10月～令和7年10月	
監 事	高橋 諭	令和4年10月～令和7年10月	
監 事	園田 貴彦	令和4年10月～令和7年10月	

職 名	氏 名	任 期
評 議 員	野上 耕一	令和4年10月～令和7年10月
評 議 員	野上 和子	令和4年10月～令和7年10月
評 議 員	和田 信彦	令和4年10月～令和7年10月
評 議 員	内藤 榮	令和4年10月～令和7年10月
評 議 員	豊實 祐之	令和4年10月～令和7年10月
評 議 員	鈴木 泰宣	令和4年10月～令和7年10月
評 議 員	矢野 章太	令和4年10月～令和7年10月
評 議 員	松村 直子	令和4年10月～令和7年10月
評 議 員	呉 靖子	令和4年10月～令和7年10月
評 議 員	小松 敏之	令和4年10月～令和7年10月
評 議 員	平木 彰子	令和4年10月～令和7年10月

2. 事業の概要

① 事業概要

学校法人野上学園は専修学校（専門課程）4校を有する。（教育内容・設備の充実、学生募集の改善をはかり、グループ校全体での連携を向上させ、学生教育活動をより充実させることを目的とする。

(1) 学生募集活動

今年度の学生募集は、設置校毎に若干の増減があったものの法人全体として堅調に推移している。今後は若年層人口減に伴う厳しい募集状況が予想されるなかで動物分野における入学希望者数の動向を調査しながら、新たな施設の建設や学生の学習環境を整備しつつ、企業との連携や地域活動をさらに拡充する等の様々な取り組みを行っていく。また地域の業界との連携を密に図り、幅広いターゲットを明確にした対応を短期・中期・長期的な視野から広報サイクルの展開を図っていくことが重要となる。

(2) 教育活動

教育理念である喜びを与える人であれを実践し、学生一人一人を大切にすることで、学びである動物と人間のよりよい共生社会を目指すことを継続する。

学生が就職後、即戦力となることを主旨とし、動物が本来もっている性質や機能を深く理解することで、日々変化し続ける社会に対して柔軟な対応ができる人材を育成する。

動物を観察し、観察力をつけることで人間社会に必要な「コミュニケーション能力」の向上を図り、マナーや道徳心をもった社会人として貢献できる人材を育成することを目指す。

また学生に対して、各種スキル・知識の取得対策を充実させるとともに、心身のケア支援、生活習慣に関する指導を改善し、学生生活全体の支援体制を整える取り組みを行う

i 授業計画書作成方針

カリキュラムの基本編成を基に各教科担当教員が年間の授業予定を定め、各科目の記載項目についての詳細な編成を進める。

授業の目的、到達目標、授業内容・方法、年間スケジュール、成績評価方法・基準等を設定し、学生が各授業科目の学習準備を進めるための基本となるものとする。また、選択科目においては、授業選択の参考となる資料になるものとし、自己評価や学生による授業評価等にも利用できるものとする。

年度毎に内容の見直しは行われ、新たな学術研究の結果を取り入れ、学習内容の質向上を図る。

ii 成績評価の方針

授業科目の成績評価は、上位より優（100～90点）、良（89～80点）、可（79点～60点）、不可（59点以下）の4段階をもって表示し、不可を不合格、その他を合格とする。

前項の規定にかかわらず、授業科目によっては、教育的効果等を考慮し、成績評価をP（Pass、合格）、N（Non-pass、不合格）で表示することが出来るものとする。

成績評価による学業結果のうち、評定平均値を用いて学業成績を総合的に判断する指標とする。

iii 卒業認定の方針

本学の理念である「喜びを与える人であれ」の精神を理解し、「如何なる時も凡事徹底」が、生涯にわたる基盤となるよう身に付いている。

主体的、自主的、能動的な姿勢が身に付き一定の思考力、判断力、表現力を獲得している。

動物分野の基礎学問を身につけ、動物から生きる知恵を学ぶことが出来る。

卒業要件として、決められた授業時間単位以上を受講し、授業科目の成績評価に

基づき、学校長が課程修了の認定を行う。

(4)組織体制

今後の私学経営を取り巻く厳しい環境に対応していくため、人員の確保や次世代の管理者育成を積極的に推進し、教育と経営の両面でバランスの取れた人材を適材適所に配置していくことが急務であり、教職員研修や指導体制の拡充をはかり組織力を強化していく。

②事業計画及び進捗状況

(1)教育研究の取り組み

実践型教育をこれまで以上に充実させるために、企業との連携をより推進している。動物産業だけでなく、他分野の産業界との連携を活発に行い、特定の業種のみの特化した教育だけではなく、時代に対応できる社会人を育成することを重視する。

また、新たな校舎建築、教育設備の導入、新しい教育方法の導入や評価基準の策定、教員の専門性向上など、さまざまな側面から教育の改善を目指します。

全国 4 校に設置校があることで、学園全体としてより幅広い地域での教育活動が行える地盤が出来つつあり、様々な地域企業との連携が可能となっている。

また、国内だけでなく、海外の教育施設、企業との交流を拡充しており、韓国、台湾、シンガポール等海外のコンテストに教員、学生が積極的に参加、またアジア圏だけでなく、提携しているアメリカ・カリフォルニア州のモアパークカレッジや動物医療大学との定期交流を通じて、より国際的な観点での教育活動が増加している。

(2)教職員の質向上

教職員は近年の多様化した社会、動物産業の多彩なペットビジネスサービスのニーズに対応する為に必要な知識・技術を習得することが必要となる。

定期的な研修プログラム:で教員が最新の教育理論や技術を学ぶための研修を定期的に実施し、自己研鑽の促進として教員が自主的に国内外の競技会、学会、イベント等に参加し学び続ける文化を醸成するための支援を行っている。

教職員の質向上は、教育の質を高めるために不可欠であり、研修やフィードバックシステムの整備、メンタルヘルスのサポートなど、多角的なアプローチを通じて、教員がより良い教育を提供できる環境を整えることを目的として今後も取り組んで行く。

(2) 施設関係

次年度の計画を策定し神戸校、大阪校、徳島校に新たな新校舎を取得する準備として神戸、大阪については校地を取得した。学生の学習環境を整備すると共に、ペットビジネス学科、愛玩動物看護学科ともそれぞれ募集定員を増加させ、さらなる学生の教育環境の整備計画を進めている。

③施設等の状況

設置学校の校舎所在地

・ブレーメン動物専門学校

1号館 徳島県徳島市佐古一番町5番4号

2号館 徳島県徳島市佐古一番町19番1号

・神戸ブレーメン動物専門学校

1号館 兵庫県神戸市中央区布引町2丁目1番17号

2号館 兵庫県神戸市中央区布引町2丁目1番14号

3号館 兵庫県神戸市中央区二宮町4丁目23番20号

・東京ブレーメン動物専門学校

1号館 東京都北区滝野川7丁目39番14号

2号館 東京都豊島区上池袋4丁目16番20号

・大阪ブレーメン動物専門学校

1号館 大阪府大阪市福島区大開2丁目19番19号

2号館 大阪府大阪市福島区大開2丁目6番7号

3. 財務の概要

(1) 2024年度決算概要

② 貸借対照表の状況

2024年度決算においては、総資産額は前年度より456百万円増加、総負債額は26百万円増加した。一昨年度定員を増加させ募集状況も堅調なことから資産総額も増加している。

③ 収支計算書の状況

2024年度決算においては、経常収支差額が昨年度より約43百万円増加した。各校での一昨年の定員増加による募集活動が順調に推移していることで総学生数が増加し、同時にグループ校全体として補助活動収入も伸びたことが要因となる。

(2)経年比較

①貸借対照表

(単位：千円)

科 目	2022 年度	2023 年度	2024 年度
固定資産	1,851,673	1,810,946	2,062,841
流動資産	264,520	708,067	912,774
資産の部合計	2,116,193	2,519,013	2,975,616
固定負債	231,362	176,970	158,418
流動負債	607,602	679,599	725,023
負債の部合計	838,964	856,569	883,441
基本金	1,628,110	1,682,210	1,995,052
繰越収支差額	350,881	19,767	97,122
純資産の部合計	1,277,228	1,662,443	2,092,175

負債及び純資産の部合計	2,116,193	2,519,013	2,975,616
-------------	-----------	-----------	-----------

②収支計算書

i 資金収支計算書（単位：千円）

科 目	2022 年度	2023 年度	2024 年度
学生生徒納付金収入	415,932	534,801	662,269
手数料収入	826	824	618
寄付金収入	0	0	0
補助金収入	46,551	56,388	63,522
資産売却収入	0	0	0
付帯事業・収益事業収入	136,811	168,722	149,402
受取利息・配当金収入	1	1	9
雑収入	3,296	4,779	3,424
借入金等収入	400,000	100,000	100,000
前受金収入	482,882	550,499	600,586
その他の収入	59,154	64,805	94,244
資金収入調整勘定	△356,069	△485,529	△544,297
前年度繰越支払資金	298,112	259,943	705,329
収入の部合計	1,486,987	1,255,237	1825,109

科 目	2022 年度	2023 年度	2024 年度
人件費支出	183,739	197,594	219,782
教育研究経費支出	65,042	78,715	94,086
管理経費支出	53,708	61,858	93,887

借入金等利息支出	1,051	891	909
借入金等返済支出	146,543	150,782	120,098
施設関係支出	712,922	0	281,566
設備関係支出	8,219	516	11,177
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	57,305	65,270	101,346
資金支出調整勘定	△1,487	△5,720	△1,722
翌年度繰越支払資金	259,944	705,329	903,977
支出の部合計	1,486,987	1,255,237	1,825,109

ii 事業活動収支計算書（単位：千円）

科 目	2022 年度	2023 年度	2024 年度
学生生徒等納付金	415,932	534,801	662,269
手数料	826	824	618
寄付金	0	0	0
経常費等補助金	46,511	56,388	63,522
付随事業収入	136,812	168,722	149,402
雑収入	3,261	4,779	2,537
教育活動収入計	603,342	765,516	878,349
人件費	183,739	197,594	219,782
教育研究経費	90,927	119,471	134,935
管理経費	55,533	62,344	93,887
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	330,200	379,411	448,605

教育活動収支差額	273,142	386,104	429,744
受取利息	1	1	9
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	1	1	9
借入金等利息	1,051	891	909
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	1,051	891	909
教育活動外収支差額	△1,050	△890	△899
経常収支差額	272,092	385,214	428,844
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	35	0	886
特別収入計	35	0	886
資産処分差額	0	6	0
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	35	6	0
特別収支差額	35	△6	886
〔予備費〕	0	0	0
基本金組入前当年収支差額	272,127	385,214	429,731
基本金組入額合計	△468,027	△54,100	△312,841
当年度収支差額	△195,900	331,114	116,889
前年度繰越収支差額	△154,982	△350,881	△19,767
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△350,881	△19,767	△97,122